

令和3年度 第1回学校評価（教職員） まとめと見解

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に際しましてご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和3年度7月に実施いたしました学校評価（教職員）の内容についてその結果をまとめましたのでご報告いたします。教職員の学校評価については、本結果を各校務分掌担当者が分析し教育活動の改善に生かしております。内容をご一読いただき、ご質問ご意見等ございましたら、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

【1】実施時期 令和3年7月3日～7月21日

【2】回答率 教職員数28 回収数28 回答率 100%

No.	評価項目	AB 評価率	CD 評価率
1	本校は、学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」の実現に向けて取り組んでいる。	100%	0%
2	本校は保護者に対して適切に情報を提供している。（学校便り・学年便り・学級便り・ホームページ等）	100%	0%
3	本校は、地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」に取り組んでいる。	100%	0%
4	分かりやすい授業となるように工夫している。	93%	7%
5	本校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ICT機器）の活動等の工夫に取り組んでいる。	100%	0%
6	作品・ノート・新聞・テストの採点等は適切・公平に評価している。	100%	0%
7	本校は子供の将来の進路や職業について適切に指導している。	69%	31%
8	本校の子供たちは落ち着いている。	100%	0%
9	本校は子供の生活指導（挨拶・言葉遣い・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。	96%	4%
10	本校は教室を整理整頓し、子供と一緒に清掃活動に取り組んでいる。	100%	0%
11	本校はいじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。（子供へのアンケート実施・子供の話を聞き相談にのる、保護者・関係機関と連携している）	100%	0%
12	本校のご家庭では、早寝・早起き・朝ごはんに努め、挨拶・しつけを定着していただいている。	96%	4%
13	本校の児童は、家庭学習に取り組み、習慣として身につけている。	89%	11%

【3】各項目結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない

No.	評価項目に対する意見
1	本校は、学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」の実現に向けて取り組んでいる。 ○児童に様々な場面で呼びかける時に、必ずこれらの目標を提示されていると思います。今の活動や話が、どんな思いにつながっているのかが、子どもたちにも分かりやすいと思います。 ○集会などで、高学年が意欲的に伝えてくれることで、低学年も「伝えることが当たり前」という土壌が育っていくと思います。共感したり、違いを受け入れたりすることで、お互いが笑顔になれる学校は、温かいなと思います。 ○朝会や集会での発表が多くあることが実現につながっていると感じます。 ○伝える場を多く作り、目標の実現のために取り組んでいると思う。 ○「伝える」ことによって相手も自分も成長に繋がるため良い目標だと感じている。 ○特に、高学年を中心とした自主の取組「特別活動の強化」が着実に進んでいることが素晴らしいと思う。 ○集会等で伝える場を多く設けてくださり、ありがとうございます。子供たちにとっても伝えることで成長できるいい機会となっています。人に伝えることで、子供自身が学習したことを再確認することができていると思います。また、保護者の方から自身のお子さんの伝えている姿を見たいという希望もあり、動画等でもご紹介できればいいなと思います。 ○伝える全校朝会に表れているように、伝えることに対して前向きに取り組む雰囲気が出てきていると思います。学級でも帰りの会などに伝える場を設け、係の発表やみんなへのお知らせなどを行っています。 ○伝える活動が、いろいろな場面で具体的に実行されていて、子どもたちの意識が高まっていると思います。 ○今年度、小宮小に異動してきて、レベルの高さに驚きました。学年の子供たちが少しでも近づいていけるようにしていきます。 ○伝える力の土台となる基礎学力の育成を意識的に行っている。 ○校長先生の朝会で思いが伝わっていると思います。委員会活動では高学年中心に積極的に取り組んでいると思います。 ○集会で伝えることができる場面があること、それに対して「伝えたい」と思う児童がいることがしっかりとマッチしているので、とても良い試みだなと感じました。 ○伝える集会、小宮小改善会議など、自分の考えを表現する場があることで子供たちが意欲的に取り組むことができるので今年度、良い機会がたくさんあり、目標の実現に近づけるのではないかと感じています。 ○「伝える」という1本の筋があると、授業・特活、すべての活動に方向性がはっきり見えて自分はとてもやりやすいです。 ◎子供の自主性を尊重していく指導。 子供自身が自分たちのことを振り返ることのできる仕組み。子供が自分の意見を伝えやすい環境をつくることをさらに進めていきたい。 ◎校長自らが積極的に動くことで、教職員も子どもたちもテーマを意識した学校生活を進めることができていると感じる。めちゃくちゃ熱い部分が目立っているが、もし、そうではない気持ちを抱えている人がいた場合、目を配る必要があると思う。 ◎自分から全校に発信しようという態度をすすんで表すことができる児童が徐々に増えていく工夫を考えたい。

	◎写真や図を使って効果的に自分の考えを「伝える」ために、タブレットを活用して、全員の考えがすぐに共有できるような活動を取り入れています。
2	本校は保護者に対して適切に情報を提供している。(学校便り・学年便り・学級便り・ホームページ等) ○プリント配布やホームページなど工夫して情報提供していると思う。 ○ホームページの更新が多く、情報提供していると思う。 ○メール配信やホームページへの掲載等、電子化が進んできていることはとても良いとだと思いますが、全家庭にしっかり情報が伝わっているのかについては不安な部分もあります。 ○電子化による情報発信の形式が保護者にも浸透しつつあり、大きな戸惑いは感じられない。これを機に様々なもののペーパーレス化を図っていったらどうかと考える。 ○紙で配らないことで、私のように ICT にうとい人だと HP をわざわざ見ない人がいるのではないかな、という心配がちょっぴりあります。 ○ホームページ等を通して、学校の指導の様子を保護者に伝えるのは良いことだと感じます。 ○毎日 HP を更新していただきありがとうございます。保護者の方の安心感をいただけています。学級通信をもっと定期的に発行できるよう努力します。 ○ホームページ更新、毎日ありがとうございます！ ◎慣れることかもしれませんが、学年だよりは紙ベースのほうが必ず見てもらえる安心感があります。保護者の方も、貼っておきたいから、ご家庭で印刷する手間があるのではと感じています。 ◎HP では、学年偏りがないように配慮されてアップしているのでよいと思う。が、学級便りがどうしても担任による差が大きくなってしまっている。強要も制限もしたくない部分なだけに申し訳ない。 ◎ホームページの更新がすさまじい。保護者がとても感謝していることを感じる。無理のないようにしていきたい。 ◎保護者の方が読まれているか気になります。 ◎6 月からいいスタートがきれていると思います。自分の担当の学校だよりについては、来年度に向け、提案を見直していきます。 ◎6 月から学校便りや学年便りなどをホームページにアップする方法に変わり、「保護者の方に見ていただけていないのかな？」と感ずることや「アップしたのに記事を見つけてもらえていないな…」と感ずることがありました。そのような声が他の先生方からも少し聞かれました。ですが、保護者も私たちも、まだこの方法に慣れていない為、もう少し続けてみないとホームページにアップする方法が不便で不適切とは言えず、もう少し続けてみた方が良いのだろうと感じています。 ◎アプリからだとか 4th から直接ホームページの文書を見ることができないため、学年だよりなど本来保護者の方が気付いているのか気になる。
3	本校は、地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」に取り組んでいる。 ○自分も、保護者の立場の時にさんざんやりましたが、「ありがとう！」の声がとても嬉しかったです。逆の「していただく側」としては、ただただ有り難いです。 ○ありがたいと思います。 ○畑での栽培活動は、時間をやりくりしながら頑張っていると思う。

	○畑での栽培活動も井上様のおかげで豊かな経験をさせていただいていると思います。図書ボランティアの方々の読み聞かせやお話の会もいつも工夫されており、子供たちも、お話に集中して楽しんでいます。いつもありがとうございます。 ○実際に畑での作業を体験させていただいたり、保護者の方に読み聞かせをしていただいたり、低学年にはとてもありがたい機会です。 ○上記の畑や読み聞かせだけではなく、水泳指導や移動教室の集金の手伝いなど多くの保護者が学校教育に関心をもち協力していただいていると感じる。 ○地域の方のご協力によって、子供たちも貴重な経験をさせていただいています。 ○畑、読み聞かせなど、子供たちも楽しむことができる活動があり、ありがたいです。 ◎該当学年以外にあまり情報が共有されていないように感じる。活動自体はとても大きなサポートをいただいていると思う。 ◎畑の草とりなどの協力を授業でできないかと考えている。 ◎読み聞かせは、たいへん工夫されていて、子どもたちにとっては楽しく、お母さん方にはいろいろな子どもたちの良さも伝わるのでとても良いと思います。栽培活動については、植物の観察を立派な畑で育った花でさせていただけるので、大変ありがたいです。ただ全く栽培のための努力をしていない野菜をただいただくことになってしまっていて、少し疑問を感じています。
4	分かりやすい授業となるように工夫している。 ○一年生なので、具体的に丁寧に示すようにしています。子どもの様子を見て、授業を組んでいます。 ○タブレットを活用した授業が多く見られる。教師が動画やスライドなどの視聴覚資料を投影したり、児童が個人でタブレットを操作して取り組んだりすることで、教科書や板書以外に学ぶ機会や手段を得ることができていると思う。 ○視覚的教材の活用 めあてを必ず掲示し、ICT 機材を活用している。 ◎ICT 活用を含め、先生方は非常に努力してくれていると感じる。今は ICT が前面に出て走っている状況だが、ICT 活用＝わかりやすい授業 というわけでもないことにそろそろ気づき始めている授業者もいると思う。ICT 機器が使用不可の状態になっても、同等の、それ以上の魅力ある授業が展開できる授業力をつけていくという意識をもっていたい。 ○自分の考えをもって課題に取り組めるような工夫をできるよう努めている。なかなかできないことも多いが… ○ICT の活用など工夫していると思う。 ○児童に身に付けてほしいものをねらいとして行っている。 ○どの児童にも伝わるよう、考える手立てを複数用意したり、子供たち同士で教え合ったり、自分の考えを伝え合ったりできるように、授業を組み立てることを心掛けています。 ○ICT 機器を活用しながら取り組んでいます。 ○今年度は高学年になり、学習の難易度が上がったこともあり、授業の中で行うこと（学習課題や活動）を丁寧に確認している。 ○授業計画を綿密に立て自力解決場面では、じっくり考える時間を確保する。 ○まとめの時間ではその時間に得たものを交流する時間を設けている。 ○支援教室については、まだまだ改善が必要です。

	○めあてを必ず提示し、活動に見通しを持たせている。教員用のタブレット端末を使用し資料を提示したり、オクリンクやクラスルームを活用したりして、児童同士の意見が見合えるようにしている。とはいえまだ模索段階のため、インターネットが不安定なときは進行が滞ることもある。 ○パワーポイントを使い、子供たちの興味をひく資料を追加したり、教科書の内容を再構成したりして授業を行っている。 ○うまくいかないことが多いですが・・・がんばります！
5	本校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ＩＣＴ機器）の活動等の工夫に取り組んでいる。 ○すごいです。時代の流れを感じます… ○今の一年生は、実物投影機での活用になります。今後取り組んでいきます。 ○スクラッチなど高学年の技術力が高いように感じます。 ○得意ではないので、とにかく がんばっています！！！！ ○タブレットやプロジェクターを活用した授業を行うことが多いと感じている。 ○校内研究と連動させ、一步一步実践を積み重ねていて先生方はよく頑張っていると思う。 ○教材を焦点化して児童に提示したいときなどに、PowerPoint を作成し、プロジェクターに映しています。一つ作れば学年共通で使えるので、よいと思います。 ○先生方はたくさんの素敵な実践されていると思います。私は、それを参考にさせていただいていますが、まだまだです。 ○プロジェクター等のＩＣＴ機器を児童の課題把握がすすむよう課題提示場面で活用している。 ○校内研究で取り組んでいただくことで、勉強になっています。自分の技術としては、まだまだですが。 ○ICT 機器について、自身はまったく詳しくなく、周りの先生方に教えていただければかりでした。ですが、研究部からのお便りや研修で色々な使い方を教えていただけて、少しずつ自分でできることが増えてきました。授業でも活用できるようになってきています。大変ありがたいです。 ○タブレットやプロジェクターを使わない日はなく、ICT を積極的に活用していると思います。 ○校内研のＩＣＴ活用にご協力いただきまして、みなさんありがとうございます！！ ◎調べ学習の際に図書室の本を活用するなど、児童が ICT(タブレット)に頼りすぎないようにすることも必要か。 ◎教職員がどれだけ・どのようにＩＣＴ機器を活用しているのか把握できない。 ◎前述の通り ICT は非常に工夫して活用できるようになっている。板書の約束（日付とタイトル（ねらい）は必ず書こう）など、若手教員の授業の基礎となる部分にも注目ができることよりよいと感じる。 ◎ミライシードについて、自分自身、活用方法をもっと他の先生方の授業を見せていただき、授業の中でよりよく活用できるようにしたいと思っています。 ◎今年度はタブレットを使おうとすると、思考が浅くなってしまい、進度も遅れていくので苦しみました。次第に慣れてくるとは思います。 ◎学習での活用も多くみられ、積極的に活用していると思います。今後は情報モラルやネチケットなどの、使う上での大前提を発信、確認していくことが必要だと思います。
6	作品・ノート・新聞・テストの採点等は適切・公平に評価している。 ○2 学期からテストを購入して実施していきます。ノートは、書き方を学んでいるところなので、板書に書いたことをうつせるようにして、その時間内で直しをさせています。

	○児童には授業の中で、保護者には保護者会で評価方法や評価場면을説明している。 ○支援教室は9月くらいに前期評価を行うが、適切に評価をしていきたい。 ○学習状況を学年で共有しながら日々進めているので、適切・公平に評価していると思います。 ○適切・公平・・・のはずです！ひいきはしていません！
7	本校は子供の将来の進路や職業について適切に指導している。 ○中学でのこと大人になってから世界について、学習の中でも取り入れている。 ○地域の学習など、つながる教育が行われていると思います。 ◎昨年度の学校評価にはキャリア教育について課題があるとあったが、学校生活の中でキャリア教育につながるものは、多くある。しかし、示さない限り保護者には理解していただけない。学年・学級便り等でキャリア教育とのつながりを積極的にアピールしていく必要があると感じる。 ◎支援教室の指導においても、今後の自分につながる、という意識をもって指導していきたい。 ◎5年生のキャリア教育は1学期これから行います。 ◎キャリア教育に関わる時間をしっかりとることができていないと思います。改善していきます。 ◎担当学年に適したキャリア教育をしていきたい。 ◎キャリア教育の内容は扱っているはずだが、授業者も子どもたちもそれをわざわざ意識するようなことがなかったと思う。社会や道徳、総合など、キャリア色が強いものがあるので、「意識する」ことで変われると思う。
8	本校の子供たちは落ち着いている。 ○掃除、休み時間も比較的高い意識をもって活動や行動できていると思う。 ○授業中は落ち着いている児童が多い。 ○大人の声がよく入ると思います。挨拶なども積極的に返す児童が多く、水準が高いなと感じます。 ○1年生は、規範や規律について学んでいるところです。何が正しくて何が間違えているのかを、1年生のうちにしっかりと身につけさせます。上級生が一年生の手本になってくれています。 ○規範意識が高く、自分たちでよくしていこうとする態度が身に付いて高学年に上がってきていることが素晴らしい。積み重ねが落ち着きにつながっていると感じる。 ○落ち着いて授業を受けていると思う。 ○概ね落ち着いて生活できていると思う。 ○課題のある児童はいるものの、概ね頑張っていると思います。 ◎数年前の状態を知っているのでついつい比べてしまいます。現在は、とても落ち着いていると思います。逆に、どうしてもその流れに乗れない児童の困り感が突出して見えてしまいます。そこをうまく対策してあげたいです。 ◎話の聞き方の指導が徹底できない。 ◎もちろん一人一人の課題や困り感はあるが、全体として非常に落ち着いた状況だと感じる。それだけに、約束・きまり・ルールが目立っていない。その時々に対応で何とかなってしまう状況は、何かのきっかけで大きな問題に発展する危うさももっていると思う。非常に落ち着いている今だからこそ、どの学年でもどの先生でもみんなで守れる生活面、学習面の約束があってもいいのでは。 ◎廊下は右側を歩いていることが多いが階段では意識が低くなっている。

	◎素直でかわいい子どもたちですが、言われたから、注意されるからやっているという子どもたちが多く、よく見ていないとすぐに崩れるので、規範意識が十分育っているとは言えないと思います。 ◎児童は、ルールやマナーは知っているが実際の場面で行動に移すことができる児童は限られる。 ◎実践力を身に付けさせる必要性を感じる。 ◎児童たちは生活規範や学習規律を守ろうと意識する気持ちはしっかりともっていると思うので、行動にうつすことができるように指導をしていきたいと思います。 ◎タブレット使用のルールやモラルについて、浸透してきたからこそその指導が必要かもしれません。やりながら修正ですね。
9	本校は子供の生活指導（挨拶・言葉遣い・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。 ○事あるごとに呼びかけたり、掲示物で見える化したり。「伝える」を頑張っています。 ○子どもに合わせて、熱心に指導していると思います。 ○生活保健部や代表委員が進んで動いていてよいと思う。 ○ある程度できるため、それ以上よくしようとする工夫をしていきたい。なぜ、このルールが必要なのか…などを考え、思考力をつけ、自分で判断できる児童が育っていけると素晴らしいです。 ○挨拶を元気に明るくすることで教員から手本となるようにしている。 ○生活指導上の問題について、みんなで共通理解を図って指導を重ねていると思う。 ○委員会の子どもたちが、全校を見ているので、あいさつは良くなるようになっていきます。 ○先生方、高学年の児童が率先して行っているので、下級生のいいお手本になっていると思います。 ○学校の最上級生である6年生が率先垂範し、日々お手本となる行動を示してくれている。それに日々触れ5年生もよい行動がとれるようになってきたと感じる。 ○各クラスなどで取り組んでいるからこそ、学校全体が落ち着いているんだと思う。 ○全学年下校時間が揃うようになってきた。本学級でも朝の時間に遅れてくる児童がいるため、引き続き指導していきたい。 ○生活指導について共通理解を図って進めることができていると思います。6年生が率先して取り組んでいきます。 ◎永遠の課題だと思いますが、廊下歩行については少し気になります。 ◎自ら考えて行動できる児童がまだ少ない。挨拶・言葉遣い・きまり等の指導を子供たちが納得できるよう指導方法を共通理解していきたい。
10	本校は教室を整理整頓し、子供と一緒に清掃活動に取り組んでいる。 ○黙々清掃の取り組みが素晴らしいと思います。 ○自立の第一歩の取り組みだと感じている。 ○子供と一緒に清掃している姿がよくみられると思う。 ○清掃の時間に教員も一緒に清掃活動している。 ○がんばっていると思います。 ○これからも続けていきたいと思います。 ○子供と一緒に清掃をしていると思います。 ◎みなさんしっかりされていますが、自分は活動の見守り・指導をしたいので、一緒に清掃を行えることが少ないです。。。 ◎もくもく清掃を合言葉にがんばっています。プールの環境は、再考したいです。

	◎先生たちのもくもく清掃についての指導が甘い。 ◎もくもく清掃の価値は高学年にはとても浸透していてよい。3年生以下の学年にも、もくもく清掃のすごさがもっと理解できれば…。OSの荷物は、時々…時々…ちょっと気になります。広いスペースだけに使い勝手がよいのだと思うが…。 ◎清掃は学校全体としてよく頑張っていると思う。環境整備としては、特に整理整頓について大人も子供も個人差が大きいので、意識的に声を掛け合っていくことが大切だと思う。 ◎もくもく清掃を低学年でも徹底していけるようにしていきたいです。 ◎子供たちは日々真剣に清掃活動に取り組んでいる。しかし教室が汚く見える。床塗装の実施で改善されることを期待する。 ◎掃除をすることの意味づけ、昨年度の校長先生のお話、素晴らしかったです。今年度もまたお聞きしたいというか、子どもたちに意識づけしていただけると、さらに掃除への意欲が湧くと思います。 ◎もくもく清掃だけでなく、安全確保のためにも定期的に机の中を整理し、机の横には物をかけず、ロッカーに片づけるよう指導している。
11	本校はいじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。(子供へのアンケート実施・子供の話を聞き相談にのる、保護者・関係機関と連携している) ○早いうちに対処しようとしています。 ○組織として対応すべく、情報交換ができています。 ○全校への呼びかけやアンケートをもとにみんなで見守る、みんなで支える体制になっている。 ○アンケート調査からの報告やいじめ対策会議があり、いじめの早期発見に繋がると感じる。 ○いじめ対応については丁寧に組織的に対応していると思う。 ○学年、専科、委員会、管理職とすぐに組織に相談できる体制ができていますので、学担は大変心強いです。 ○生活指導主任を中心に学校全体が細やかに対応していると感じる。 ○組織的に取り組んでいると思う。 ○いじめの早期発見に努め、起きた時には早期対応も実施できていると思います。 ○子供への聞き取りや保護者との連携も学年や学校で対応する仕組みができています。 ○すばやく対応できていると思います。 ◎子供たちの気持ちに寄り添った対応を強化していきたい。 ◎関係機関との連携は今後の課題の一つだと思う。特支 Co やこみっきも強く関わって学校外との連携が確立されるとよいと思う。 ◎市の方針なので仕方のないことだとは思いますが、アンケートが多すぎて、子供たちが「また？」と感じているときがあります。
12	本校のご家庭では、早寝・早起き・朝ごはんに努め、挨拶・しつけを定着していただいている。 ○提出物も回収が早く、児童の忘れ物も少ない。朝食を食べてこない児童が少ない。(家庭科で調査した時には一人だけだった) ○早起きが苦手な児童が多いようだが、指導を続けることに改善に向かっている。

	○家庭の力には差がありますが、なかなかその点についてお話することは難しいことだと感じています。 ○提出物も基本そろうので、ありがたいです。 ◎朝ごはんを食べていない児童がちらほら見受けられるのが、気になります。 ◎いろいろな考えの家庭がある中、学校と共に子供を育てようとしてくれる家庭が多いと感じています。 ◎寝る時間が遅いのと、挨拶など礼儀の部分へのしつけが気になります。 ◎ごく一部の家庭に、余裕や意識が十分でないと感じる時があります。 ◎担任学年が高学年だからか自分のことをしっかりとコントロールできている、またはしようとしている児童が多いように感じます。実際の行動に移せる児童を増やしていきたいです。
--	---

	本校の児童は、家庭学習に取り組み、習慣として身についている。 ○一年生は丸付けをお願いしています。何件かついていない家庭もありますが、おおむね協力してくれています。宿題忘れも翌日には提出しています。 ◎宿題への取り組み方に差がある。自主学習に取り組む児童が少ない。学校でいろいろと工夫していきたい。 ◎自主的に学習する態度については課題。また、宿題については、提出すればよいという意識になってしまうことがある。 ◎家庭によって差があるように感じます。 ◎よく取り組んでいると感じる。しかし、親に教員にやらされている児童もやはりいる。何のために家庭学習を行うのか、理解や意義を理解させ取り組ませる必要がある。 ◎自主学習を毎日自分から出す児童はクラスで5、6人ほどである。習慣づけていきたい。 ◎宿題をする習慣が身に付いている児童とそうでない児童の差があります。基本的には宿題に関しては身に付いていますが、自主的な取り組みはあまりないかもしれません。 ◎家庭学習を見ることができない家庭が1件あり、その子は放課後に全てやらせてから下校させています。
--	---

	本校の児童は、家庭学習に取り組み、習慣として身についている。 ○校長先生・副校長先生中心に、皆さんそれぞれ立場で頑張っておられます。教職員の間の風通しは悪くない感じだと思っています。 ○校長先生が自ら教育活動に関わってくださることが、私たちの手本となっている。ありがたく感じている。 ○校長先生の学校経営計画の実現に向けて、コロナや様々な取組が導入される中、先生方は本当によく頑張っていると思います。私もチーム小宮の一員として少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。 ○校長先生が先頭に立って、道を示してくださるのでありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。 ○新しい活動が始まり、意義深い内容がたくさんあり、子どもたちも育ってきていると感じることが多いです。一方職員としては、内容が増えてきているので、どんどんきつくなっていく感じがします。 ○朝の時間等、もう少しクラスの時間があつたらと思う時があります。 ○子供たちに合っているから今の小宮小があるように思います。 ○学校全体が落ち着き、いい方向に進んでいると感じる。学校のさらなる発展に寄与していきたい。 ○昨年度よりさらにパワーアップして、伝える集会や委員会活動の活発化など子供たちの輝く場があることが子供たちの充実した日々に繋がっていると思います。その機会を無駄にしないよう指導を頑張ります。 ○十分なコロナ対策をして、できる限り通常の教育活動を進めていきたいです。
--	--

◎教員による提示や児童個人の活用など、ICT を活用した指導が充実していると思う。教員は指導の工夫として様々な場面で積極的に活用していけるとよいと思う。逆に、児童に対しては技能の一つとして ICT(タブレット)の操作に慣れてほしいが、それに頼りすぎず、あくまで手段の一つとして「活用」する、という意識ももってほしい。